



学校法人ノースアジア大学 広報

SAKURA

2007.¹⁰
VOL. 213

CONTENTS

- P2 経済学科に「健康・医療コース」新設 ほか
- P3 来年度9月入学制度導入
韓国・東亜大学校と連携協定 ほか
- P4 2007シティカレッジ後期スタート ほか
- P5 「ANA私の青空 大館能代空港 白神の森づくり」参加
仙北市観光アンケートに協力 ほか
- P6 明桜高校入試日程 研究室訪問
- P7 ホスピタリティ入門Ⅱ開講
キャリア支援「面接試験対策講座」開講 ほか
- P8 秋田わか杉国体で活躍！
幼稚園・保育園園児募集開始

経済学科に「健康・医療コース」新設

経済の視点から健康・医療を考える

来年4月、本学経済学部経済学科[※]では、医療・健康コースを新たに設けます。

このコースの目的は、医療や健康に関するニーズや関心が高まるとともに、生活者の目線で医療や健康、食の問題を考え、経済学の専門知識と応用力から医療と健康に通じた人材を育てることです。

経済学では、企業、家計、政府の3つを経済主体とみます。そのうち家計＝生活者にとって、最も大切なことは健康であることです。健康が損なわれれば医療機関に行ったり、薬品を購入したりします。また、健康を維持するため、食生活のあり方に注意を払いながら、日々、食料品を購入しています。それらは生活する私たちの経済活動といえます。

医療や健康の問題を考えることは、私たちが経済のしくみを理解する一つのきっかけになります。

◆ コースのキーワード

医療システム 診医療保険 病院経営 レセプト
薬価差益 ジェネリック 食の安全 食育
食によるまちづくり フードビジネス

このコースでは、

- 診療報酬請求事務能力認定試験
- 食生活アドバイザー

などの取得を目指し、下記の分野などへの就職を目指します。

- 病院・医院などの医療機関（医療事務、病院経営）
- 医薬品販売
- 食品産業（食品の加工・販売・流通）

※平成20年4月から実践経済学科は経済学科に名称変更予定

お問い合わせは大学事務部入試広報課まで

TEL：018-836-1341 FAX 018-836-2485

大学入学、卒業について厳格化を図る

卒業時にファイナルテストを導入

9月2日、本学が実施したAO（自己推薦）入学試験I期は、AO入試本来の「受験者の学力や個性、適性を総合的に評価する」方法を取って選考しました。志望理由書や面接から受験者の学習意欲や思考力、表現力を総合的に判断したものです。そこで大学側から見て特長や学習意欲が不足しているとみられた受験者は合格に至りませんでした。

今、「大学設置基準の緩和」「全入時代の到来」などの影響から日本の学部教育の質の低下や学生の能力不足が危ぶまれています。そのような現状だからこそ大学の入学試験は選抜の時代になってきていると考えます。

もちろん、十分に選考し入学していただいた学生に対しては、質の高い教育を提供し、学生生活を厚く支援して就職・進学の際には学生の希望どおりに送り出したいというのが本学の方針です。

本学の在学生在が「ノースアジア大学の学生である」ことに、また卒業生が「ノースアジア大学の卒業生である」ことに誇りを持てるような大学とすることを目指します。

過日、中央教育審議会（文部科学省の諮問機関）小委員会が学生の能力低下を防ぐため、卒業要件の厳格化を柱とする報告書案をまとめました。

本学でも卒業の認定に際しては、その特色に応じた学科別のファイナルテストの実施や当該学科に関連する外部試験（各種資格試験や能力評価試験）の活用により、どのように出口管理を強化して有為な人材を社会に送り出すかを検討しています。一案として法学部では公務員コース所属の学生全員に警察官・公務員試験対策室に所属してもらい、試験合格に向けた学習支援を徹底することなどがあります。

来年度から9月入学実施

留学生入学促進、
教育の一層の国際化を

ノースアジア大学では来年度から9月入学制度を導入いたします。
これは9月を年度・学期のスタートとする一般的な海外の高校からの留学生を受け入れるにあたり、この制度の導入がそれを円滑なものとし、また促進できるものと考えからです。
本学は、アジアそして世界を視野に入れた教育を展開していくための取り組みを強化しています。ここ数年、中国や台湾、アメリカなどの大学と留学生受け入れ・単位互換や教員間交流などに関する協定締結を拡充しており、また今年度には日本語研修を主目標とする留学生別科も設けました。来年度からスタートする法学部観光学科も教育の国際化を大きく推し進めるものです。外国からより多くの優秀な学生を受け入れ、教育・研究の国際化と一層の充実を図りたいと考えています。
先月18日、文部科学省では大学の9月入学を促進するため、現在は「原則4月」と定めている入学時期を各大学の判断に委ねる方針を決めました。年内にも学校教育法施行規則を改正し、規定を「学年の開始と終了の時期は学長が定める」と改めるということです。（なお、現在も帰国子女や留学生などに配慮し、学年の途中（学期区分）での入学や卒業は認められています。）

韓国・東亜大学校と連携協定

留学先として
国際教育の充実を図る

教育・研究の交流機会、学生の留学先の充実など国際教育の強化を図るため、10月17日、東亜大学校（韓国 釜山市）において同大の沈奉謹（シム・ボンケン）総長と本学の小泉健学長が「学術交流協定」の調印を行いました。
これにより学生の長期、短期の語学留学先の確保や学生・教員の文化学術交流、共同研究や学術情報の共有などを実施し、協力関係を発展させることとなります。

東亜大学校

人口380万の韓国第2の都市、釜山に位置する私立大学。1946年の設立以来60余年の歴史を礎とした国内でもトップレベルの研究と教育を誇る名門校として知られる。3つのキャンパスを中心に学生数23,000人が学ぶ、経営・社会科学等11の学部と大学院を有する総合大学。

学生たちの教育・研究国際化のために海外姉妹大学との交換学生制度、語学研修制度等のプログラムを実践。世界20ヶ国85大学及び施設との協定を締結している。

東亜大学校の詳細についてはこちら ▶▶▶ <http://www.donga.ac.kr>



調印に続いて固い握手を交わす

明桜高校で中国人留学生を受け入れ

国際交流基金日中交流センターと共催

9月11日 明桜高校へ1年間留学する閻 亜光（エン・アコウ）君が小泉健理事長を表敬訪問しました。

この留学生受け入れは、日中両政府間の合意に基づく事業（長期招へいプログラム）として平成18年度から始まり、独立行政法人国際交流基金が日本の文部科学省に相当する中国教育部の協力を得て、中国国内で日本語を学ぶ高校生から選考し、日本の高校と共同で実施するものです。

今年度は、明桜高校が共同実施校として選ばれて留学生を1名受け入れることになりました。

また同日、所属する2年N組で歓迎をうけた閻くんは中国語、英語、日本語でそれぞれ流暢に自己紹介をして、クラスの生徒たちを驚かせました。

高校では、正課以外にも定期的な生徒宅へのホームステイや他の中国人生徒・大学の中国人留学生とも交流する機会を設けて閻くんの高校生活を円滑で充実したものになるよう支援します。



留学生別科新入生紹介

1年間で日本語の基礎を習得

このほど平成19年度留学生別科後期の入学生として陶楠（トウ・ナン）さんが入学しました。

陶さんは中国吉林市出身の21歳。日本語は中国吉林市の日本語専門学校で2ヶ月間学びました。

入学から約1ヶ月が経過し、毎日、日本語の文型や読解の授業を受けている陶さんに授業の感想などをお聞きしました。

—日本語の授業の感想は

ちょっと難しいですが、新しいことを覚えるのは面白いです。

—留学生別科で学び、目標は

たくさん勉強して大学に進学したいと思います。

—秋田に住んだ感想は

まだ寮と大学、秋田駅しか行っていませんが、これからいろいろな場所に行ってみたいと思います。

ノースアジア大学 留学生別科

本学や他の日本の大学への入学、または日本研究を目的とし、日本語の勉学を希望する外国人に対して日本語及び日本社会に関する基礎知識を教授するという目的のために設置しています。



シティカレッジ2007 後期スタート

本学総合研究センターでは市民向け公開講座「シティカレッジ」を開催しています。会場は本学キャンパスのほかカレッジプラザ（明徳館ビル2階・秋田市中通）や秋田市文化会館（秋田市山王）です。

本年度後期も多彩な講座や講演会を予定しており、10月30日は脚本家として著名な内館牧子氏が「男と女の生老死～テレビドラマに見る生き方、死に方～」と題して講演会を行います。また11月11日には「中国との関係について」と題した鼎談を福岡政行・白鷗大学教授とノンフィクション作家で評論家の石川好氏、小泉健・理事長兼学長の3氏により行います。

このほか本学ウィンドオーケストラによるコンサートやインドネシア語・マレーシア語講座など新たな講演・講座も用意しています。

各講演・講座のお申し込み、お問い合わせについては下記総合研究センター事務課まで。

金昌男（キム・チャンナム）・東亜大学校（韓国）教授が同センター客員教授に就任します。シティカレッジ「ビジネスエリート養成講座」では韓国と日本の企業を比較検討し、韓国企業の研究開発・国際化戦略など韓国経済の発展について講義をしていただきます。

金昌男客員教授のプロフィール

東亜大学校社会科学大学 経済学科教授
韓国東北アジア経済学会 顧問
経済学博士（筑波大学）

略歴

筑波大学大学院社会科学研究科 博士課程修了
英国ケンブリッジ大学 客員教授
拓殖大学 日韓文化交流基金招請客員教授

| 講座名 | 講師 | 日時 | 場所 | 受講料 |
|---|--|--------------------------|--------------------------|-----|
| 男と女の生老死 ～テレビドラマに見る生き方、死に方～ | 脚本家 ノースアジア大学客員教授 内館 牧子 氏 | 10月30日(火) 13:00～14:30 | ノースアジア大学 40周年記念館271教場 | 無料 |
| 鼎談 「中国との関係について」 | 白鷗大学教授 ノースアジア大学客員教授 作家・評論家 ノースアジア大学客員教授 学校法人ノースアジア大学理事長兼学長 福岡 政行 氏 石川 好 氏 小泉 健 氏 | 11月11日(日) 13:00～15:10 | カレッジプラザ講堂 | 無料 |
| ノースアジア大学 ウィンドオーケストラ・ コンサート | テノール歌手 ピアニスト ノースアジア大学・秋田栄養短期大学・明桜高等 学校吹奏楽部 大学・短大吹奏楽部顧問 高校吹奏楽部顧問 小林 彰英 氏 腰塚 賢二 氏 白川 欽哉 氏 石崎 聖也 氏 | 12月14日(金) 13:00～15:00 | 秋田市文化会館 大ホール | 無料 |
| 民俗学講演会・ パネルディスカッション 「観光と民俗を考える ～男鹿市の観光振興を事例として～」 | 男鹿市産業建設部観光課長 秋田県民俗学会事務局長 ノースアジア大学雪国民俗館名誉館長・総合研究センター教授 ノースアジア大学雪国民俗館館長代理・秋田栄養短期大学後教授 菅原 正幸 氏 石郷岡千鶴子 氏 鎌田 幸男 氏 平 辰彦 氏 | 1月11日(金) 13:00～16:00 | ノースアジア大学 大会議室 | 無料 |

※1 1講座の授業時間は90分。

※2 カレッジプラザ＝明徳館高校ビル2階（秋田市中通）

申し込み等、詳細についてのお問い合わせは総合研究センター シティカレッジ係まで

TEL 018-836-6592, 4531 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@akhu.jp URL <http://www.akeihou-u.ac.jp/~center/>

シンポジウム 「観光立県と人材育成」開催

観光による
経済活性化を

10月13日、本学40周年記念館講堂で「観光立県と人材育成」と題したシンポジウムを開催しました。このシンポジウムに先立って基調講演「観光学は秋田を変える」と行なわれました。講師は立教大学観光学部教授で同大観光研究所長の小沢健市氏。

小沢氏は現在、観光事業が著しい伸展を示していて、その経済的影響（インパクト）はもとより、社会・文化的なインパクト、自然環境へのインパクトがプラスに働くとき、地域の活性化につながると述べました。秋田県の観光の経済効果を高めるための戦略にもふれ、そのためには観光事業の幅広い専門的研究が必要とされるとしました。「観光」を学ぶことで観光を事業化し、秋田の魅力をよりの確に発信、サービスを提供できるようになり、秋田を変えることにつながると結びました。

続いて行なわれたパネルディスカッションでは、各都道府県・市

町村が政府の観光立国宣言を受けて、それぞれに有する観光資源を活用して魅力ある観光地づくりに取り組んでいることを取り上げ、そこに必要とされる観光・地域のリーダーであり、その育成が課題とされることについて旅客運輸業、旅行業、教育機関など各界の一線で活躍するパネリストがそれぞれの観点から意見を述べ合いました。



観光のインパクトについて語る小沢教授

パネリスト

| | |
|-----------------------------|---------|
| 立教大学観光研究所長・観光学部教授・経済学博士 | 小沢 健市 氏 |
| (株)ANA総合研究所取締役副社長 | |
| ノースアジア大学国際観光研究所顧問 | 泉 正史 氏 |
| （株）日本オリンピック委員会 評議員・総務常任委員 | |
| 元(株)阪急交通社旅客営業本部長 | 本山 茂樹 氏 |
| 観光カリスマ・秋田県グリーンツーリズムコーディネーター | 田口 久義 氏 |
| 学校法人ノースアジア大学理事長・学長 | 小泉 健 氏 |

コーディネーター

道 端 忠 孝 ノースアジア大学法学部長・国際観光研究所長



観光の現状と人材育成について

豊かな秋田の自然を次代につなぐ

「ANA 私の青空 大館能代空港 白神の森づくり」に参加

本学国際観光研究所では10月21日、ANAと秋田県八峰町、大館能代空港ターミナルビルと共催で「ANA 私の青空 大館能代空港 白神の森づくり」と題した植樹を行いました。

この行事では県内外から約80人が参加して、八峰町ナメコ沢の白神山地（世界自然遺産登録地域周辺部）でブナの植樹と、周辺の低地ブナ林を探索するエコツアーを体験。森の育成に参加することで自然の偉大さを知り、自然との共存のあり方を探っていく活動です。

事業を主催した八峰町と本学は観光に関する連携協定を結んでおり、観光奨学生と教職員合わせて20人が植樹とエコツアーを体験し、また前日には多くの参加者とも交流を図りました。



急な斜面での植樹に取りくむ

仙北市が主要観光地で「観光アンケート」実施

観光奨学生、観光法ゼミ生が協力

8月9日、秋田県仙北市内の観光地6ヶ所で本学観光法ゼミ生や観光奨学生、教員あわせて12人が仙北市観光アンケート調査に協力しました。

この調査は、仙北市との間に締結した「観光に関する連携協定」に基づいて本学が協力したもので、▷旅行の形態について▷交通の手段▷仙北市を訪れた感想▷食事の内容▷購入したお土産一などの13項目に対して同市の観光地を訪れた観光客から回答を得ました。

この日は仙北市職員と協力し、計347件の調査回答を集め、同市では、この調査結果を観光振興計画の策定に関する基礎資料として活用することになります。



田沢湖畔でアンケートを実施

看護福祉大 看護学科・社会福祉学科生が活躍 わか杉大会サポーターとして選手を支える



10月13日～15日の3日間にわたって行なわれた秋田わか杉大会（第7回全国障害者スポーツ大会）のサポーターとして秋田看護福祉大学の学生が参加しました。

秋田雄和会場（県宮陸上競技場）には看護学科2年生50人、能代会場（能代市総合体育館）には社会福祉学科2年生28人、看護2年生4人の計82人が派遣されました。

各会場では競技担当サポーターとして選手のスタート前とゴール後を補助するなど主に競技を円滑に進めるための業務を担当したり、選手団担当サポーターとしてバスケットボールの代表選手団1チームに2人が付き、応援とかかる補助業務を担当したりしました。

参加者を代表して秋田会場リーダーを務めた成田知佳さん（看護学科2年）は、「最初は慣れず大変でしたが、2日目からサポートが楽しく、やりがいを感じました。選手との接し方が分からなかったのですが、選手の方から明るく話しかけてもらいました。いつの

間にかとけ込むことができ、一緒に過ごせて楽しかったです。この大会のサポートを通して、ハンディに対する考えが大きく変わりました」と大会を振り返りました。



サポーターとして活躍する学生

平成20年度 明桜高校入試日程決まる オープンスクールに多数の参加者

平成20年度の明桜高校入試日程が決まりました。本校は普通科にエリア選択コース制をとり、生徒1人ひとりの個性・適性を伸ばす教育を6つの専門的エリアで提供しています。

昨年度との試験制度の主な変更点として、エリア選択コースの前期入試区分で3教科試験を実施する点と奨学生入試は実施せず奨学生については前期入試と後期入試（いずれも専願）の受験者の中から選考するという点が挙げられます。

詳細については高校ホームページで生徒募集要項を公開しており、出願書類の一部はダウンロードが可能です。

前期入試〈専願〉

| | 出願期間 | 試験日 | 試験内容 | 合格発表日 | 入学手続締切日 |
|---|---------------------|------------|-------------|------------|------------|
| 普通科 エリア選択コース 130名(奨学生を含む) 特別進学コース 10名(奨学生を含む) | 平成19年12月12日 ～19日 | 平成20年1月10日 | 国語・数学・英語・面接 | 平成20年1月14日 | 平成20年1月22日 |

一般入試〈専願〉

| | 出願期間 | 試験日 | 試験内容 | 合格発表日 | 入学手続締切日 |
|--------------------------------------|--------------------|-----------|---|------------|--|
| 普通科 エリア選択コース 180名 特別進学コース 130名 | 平成20年1月23日 ～30日 | 平成20年2月8日 | 国語・数学・英語(リスニングあり) 理科・社会・面接 国語・数学・英語(リスニングあり) 理科・社会 | 平成20年2月18日 | ①平成20年2月26日 ②平成20年3月14日 ①平成20年2月26日 ②平成20年3月14日 |

後期入試〈専願〉

| | 出願期間 | 試験日 | 試験内容 | 合格発表日 | 入学手続締切日 |
|--|--------------------|------------|--------------------------------------|------------|------------|
| 普通科 エリア選択コース 10名 特別進学コース 20名(奨学生を含む) | 平成20年3月12日 ～14日 | 平成20年3月19日 | 国語・数学・英語・面接 国語・数学・英語・理科・ 社会・面接 | 平成20年3月22日 | 平成20年3月25日 |

研究室訪問

新任教員紹介



経済学部講師 塚谷 文武

今回は経済学部新任講師の塚谷文武先生にお話を伺いました。

塚谷先生は、福井県出身、現在32歳。大阪市立大学を卒業し、大阪市政研究所の経済研究員を経て本学に赴任されました。先生は「財政のしくみ」、「地方の財政」などの授業を担当しています。

一どのような授業を心がけていらっしゃいますか

学生が分かりやすいよう工夫しています。授業の冒頭で今日は何を教えるか、いくつかのキーワードを必ず伝えます。そして授業の合間には地元秋田の新聞などを見せられ、秋田の経済事情にも目を向けてもらうようにしています。

一☆本学の学生の印象は

真面目な学生が多いですね。講義をみんな真剣に聞いています。

一☆先生の学生時代の思い出は

海外旅行かな。タイ、マレーシア、アジア諸国に行きました。行きの片道切符しか買わず、現地に着いてから、行き先や宿泊するホテルを決めるような旅を友達と2人でしていました。32年間の1番の思い出ですね。

一☆先生のご趣味は

スポーツ観戦、読書、そして温泉。秋田に来て乳頭温泉にも行きましたよ。

一☆学生に対するメッセージをお願いします！

学生時代に海外旅行に1回は行ってみよう！海外に行くと他国の異文化はもちろん、日本の豊かさを実感できる。そこから日々の生活に海外で学んだことを生かせるから。そして4年間という時間を自由に使える時はもう今しかない。大学生活は思いっきり勉強して、遊んでほしい!! そこで、これからの人生で興味が持てる仕事を見つけること。人生設計を考えるとこの大学の4年間は大事だよ。

いろいろな質問に気さくな笑顔で答えて下さいました。

取材へのご協力ありがとうございました。

報道部 門脇基宏(法3年)・伊藤香織(法3年)

キャリアセンター主催

「プロが教える面接試験対策講座」スタート

本学キャリアセンター主催の「プロに学ぶ面接試験講座」が10月15日からスタートしました。(株)秋田放送ラジオ局ラジオ制作部次長の丹内モモコ氏を講師に迎え、就職活動を行う学生たちに役立つ面接試験への対策などを教えていただくものです。大学3年生、短大1、2年生を対象に面接時における基礎的な知識や実践的な模擬面接まで学部・学科ごとに3回にわたって行なわれます。

丹内氏は自ら面接官を担当することもあり、その視点から学生に対して服装の選び方から身だしなみ、立ち居振る舞いなど細かな点まで気を配る

こととお話しただきました。また、自分の表情を研究することや上手な話し方などアナウンサーとしての経験からも貴重なアドバイスをありました。

参加した学生は就職活動を目前に控え、また、中には現在活動中の学生もあり、熱心にメモを取るなど真剣な姿が見られました。



分かりやすく具体的なアドバイス

「ホスピタリティ入門Ⅱ」開講 CA の経験に基づいて講義を展開

10月3日から「ホスピタリティ入門Ⅱ」が開講され、前田香保里・元 ANA 客室乗務員による講義が行なわれています。

同講義は来年度の法学部観光学科開設に先がけて、他学部生や短大生にも広くホスピタリティ(丁寧なもてなし)について学んでもらうものです。観光学科では1年次から履修する専門科目であり、「ホスピタリティとはどのようなものか」を理解するため「サービスを提供する側にとって必要な要素」を探求していくことをテーマとしています。

講義形式で進められますが、ホスピタリティマ

インドについて常に学生自身が考え、学生同士の意見交換を取り入れながら実践・応用に結びつけていきます。

講義終了後は学生がレポートを提出し、「日常の中で他者のことを考えて行動するようになった」などの感想に講師がコメントを添えて返却するという形をとり、意見や考えの交流があることも好評を得ています。



経験を基にホスピタリティについての講義

今年度合格者が

警察学校に体験入校

警察官志望の1～3年生も参加

本学の警察官・公務員試験対策室に所属する学生14人が10月4日、秋田県警察学校体験入校に参加しました。

体験入校は、警察官として採用された際の初めての6ヶ月間ないし10ヶ月間にわたり初任教養のため入校することになる警察学校での生活やカリキュラムについて知るためのものです。学校での規律正しい生活、また警察官として必要な知識や技術の概要について教官から説明があり、続いて教場

や射撃場、道場や寮などの施設見学も行なわれました。

参加した4年生5人のうち3人はすでに秋田県警、神奈川県警の採用試験に合格。来年の4月には警察学校に入校することになり、これらの説明に真剣に聞きっていました。また参加した3年生、1年生にも「警察官はやりがいのある仕事。やる気をもって勉強して試験に臨んでください」との激励の言葉がありました。



教官から学校概要について説明

報道部 インタビュー

秋田わか杉国体で健闘!!

— 一ノ関和羽さん・水泳(競泳) —



一ノ関 和羽
(経3年)

出場のご感想をお聞きしました。

一秋田わか杉国体参加について

感想をお願いします。

地元ですから秋田の小さな子ども達や、両親、親戚が応援に駆けつけてくれて励みになりました。1つ1つの声援がとても励みになりました。国体は何度か出場しましたが、総合開会式で入

場したのは初めてで、秋田県代表として入場行進をした時は、感動のあまり涙が出ました。

一さまざまな大会に出場されていると思いますが、国体と他の大会とは違いはありますか。

国体だからといって特に意識したことはありませんが、やはり秋田県代表なので、緊張やプレッシャーは試合前にはありますね。

一今後の目標をお願いします。

来年4月に北京五輪の予選会があります。その予選会で良い成績を出し、北京五輪出場を決めることです。来年が学生生活最後なので、悔いが残らないように4月まで必死に頑張ります。北京五輪に出場することが出来れば最高です。

普段は、日曜日以外は毎日練習があるという一ノ関さん。苦しい練習を乗り越えて北京五輪出場を決めてほしいです!!

一ノ関さん、取材へのご協力ありがとうございました。

報道部3年 門脇 基宏

幼稚園 保育園 園児募集!!



ノースアジア大学附属のびのび幼稚園・さくら幼稚園では10月1日から平成20年度新入園児を募集しています。

両幼稚園は大学附属の特長を生かし、施設の利用はもとより幅広い年齢の人と触れ合うことで人間性を豊かにすることを目的とした大学生や高校生との交流機会が多く設けられています。

また教育内容の一層の充実を図っており、遊びながら英語が身につく「英会話教室」、日本の伝統文化に触れる「茶道教室」なども実施しています。

このほか保護者に対して、専門家による講演会の開催や子育て相談の実施など子育て支援を厚く行なっています。

園児募集についての詳細は次のとおり。

| | 認定こども園 附属のびのび幼稚園 | 附属さくら幼稚園 |
|------|--|--------------------------|
| 募集人員 | 1年保育(満5歳児) 若干名 2年保育(満4歳児) 25名 3年保育(満3歳児) 70名 | 若干名 若干名 30名 |
| 出願期間 | 平成19年10月1日(月)から受付を開始。 募集定員に達し次第、締め切り。 | |
| 試験日 | 平成19年12月5日(水) 午前10時~ | 平成19年11月30日(金) 午前10時~ |
| 試験場 | 附属のびのび幼稚園 | 附属さくら幼稚園 |
| 試験内容 | 面接・身体検査 | 面接・身体検査 |
| 合格発表 | 試験が終了次第、通知 | 試験が終了次第、通知 |

附属のびのび保育園では
随時、願書を受け付けています。

募集人員

1年保育(2歳児)10名 2年保育(1歳児)10名
3年保育(0歳児)10名

お問い合わせ先

認定こども園 附属のびのび幼稚園・保育園

〒010-0065 秋田市茨島4-1-20

☎018(823)4540 FAX018(863)4918

附属さくら幼稚園

〒010-0065 秋田市下北手字新桜谷地2

☎・FAX 018(834)2957



明桜高生との
交流会

稲刈り

